



# ぼくの わたしの 夢

<sup>とら</sup>寅年生まれの小学生のみなさんから、将来の夢をテーマに、思いをつづっていただきました。



## 山小屋の人に なりたい!

浦佐小学校 5年  
林 彪夏<sup>ひゅうが</sup>さん

ぼくがこの夢をもったきっかけは、5才の時に母さんと坂戸山に登り、「山は気持ちいいなあ。」と思ったことです。小学生になり、「良い景色や植物が見られて、色々な人と出会える山小屋の人になろう!」と思いました。新型コロナウイルスが流行する前は年間70〜100座くらい登っていて、ますますこの気持ちが強くなりました。

ぼくが山小屋でしたい仕事の一つは、歩荷<sup>ほっか</sup>さんです。駒ヶ岳で出会った歩荷さんは、数十kgの荷物を背負って運ぶ姿がとてもしっかり見えました。そのために、山登りを通して体力を付けたいです。

もう一つは、山の魅力を多くの人に伝えることです。ぼくが一番好きな山、八海山のカタクリ。三条やぎが鼻のヒメサユリ。谷川岳一ノ倉沢の紅葉。どれもぼくの心に強く残っています。また、山にはさまざまな人との出会いがあります。ぼくは知り合った人との山に登ったこともあります。山の写真を撮り、SNSを通じて紹介し、山の魅力を多くの人に教えてあげたいです。そのために、一生懸命勉強して相手に伝える力を高めたいです。



## 将来の夢

城内小学校 6年  
若井 柚葉<sup>ゆずは</sup>さん

私の将来の夢は検察官です。検察官になりたいと思った理由は、法律の中でも特に、刑法と刑事訴訟法が好きだからです。「こども六法」という本を読んで、刑法と刑事訴訟法について知り、おもしろいと思いました。刑法と刑事訴訟法が活かされる仕事は検察官なので検察官になりたいと思いました。

私は、検察官の仕事はすばらしい仕事だと思えます。なぜなら、裁判で勝訴したら被害者の苦しみを少しでもやわらげることができるからです。だから私は、検察官になって被害にあつて苦しんでいる人を助けたいです。

しかし、人の人生を左右するので、そう簡単にはなれません。まず、専門の勉強をして司法試験という試験に合格しなければなりません。そして、刑法、刑事訴訟法以外にも、民法、民事訴訟法、憲法、商法などがあり、覚えるのはとても大変です。

私は、検察官になるために、毎日少しずつ法律を覚えていきたいです。